

12/18 さらに飛躍を目指して

サッカー J3リーグ(3部)藤枝 MYFC の幹部が来町し今季の成績を報告

藤枝MYFCの見原健司取締役・鎌田昌治代表・シジマルコーチが役場本庁舎を訪れ、2017年シーズンの成績を報告しました。

見原取締役は「目指すのは、2年後にJ2に昇格できるチーム作りとスタジアム改修。皆さんの温かい声援に恩返しするため、さまざまな場面で連携を深め、町の活性化の一助となれたら」と、7位に終わったシーズンを振り返りました。鈴木町長は「ホームタウンとして、地元の星である皆さんの活躍を期待している。さらなる躍進に向けて後押ししていきたい」と激励しました。



鈴木町長にサインボールを手渡すシジマルコーチ

「地域を守る」決意新たに

1/7

団員212人が参加し、町消防団出初式を挙

中川根中学校体育館およびグラウンドで平成30年町消防団出初式が挙行されました。

式典で鈴木町長は、「迅速で正確な対応が取れるよう訓練に励み、地域に安心感を与えられるよう、日々その責務を遂行されることを期待している」と述べました。また諸田環団長は、「十分な訓練を積み、防災上必要な教養を身につけ、地域防災のリーダーシップを取っていくことが期待されている」と団員らに呼び掛けました。

また、日本消防協会長表彰者が紹介されたほか、長年の功績をたたえて各団員への表彰状の授与が行われました。

式典終了後には、2隊によるポンプ車および小型ポンプの操法が披露されたほか、今年1年の無火災・無災害を祈念して長尾川への一斉放水が行われました。

動画
de
広報



▲町長による各分団の閲団

【日本消防協会長表彰】

▼功績章 山口輝久(副団長)

▼精績章 井口晶彦(副団長)



一斉放水では長尾川に虹が架かり、見物していた人から歓声があがった

Go, For 2020!

大村朱澄、
2018年の決意。

こんにちは
おねほねおねほね
大村朱澄
です!
vol.19



2017年を振り返って

おとしし8月からの約1年半、身体を基礎から作り直す期間と決めて、日本代表チームを離れて筋力トレーニングに取り組みできました。国立スポーツ科学センターにて正しいフォームや意識するポイントなどをトレーナーからマンツーマンで教えてもらい、1年半前に比べてもケガをしにくく、また筋力が付きやすい身体を作ることができたと思います。

しかし、「夏前になると体重が落ちてしまう」というこの数年の課題をまたくり返してしまったこと、ウェイトトレーニングをメインにして水上での練習量が減少したこともあって、昨年9月の全日本選手権では、500リットルシングルで8位、500リットルペアで2位、200リットルシングルで4位という結果に終わってしまいました。続いて10月に行われた国体では、完全ではないものの全日本選手権の時よりも実戦感覚が戻ってきたこと、レース中は周りを気にせず自分の世界に集中できたことで、500リットルシングルと200リットルシングルの両種目で2位となりました。いずれの大会におい

ても、パワーアップした身体を水上でのパフォーマンスに生かすための時間が短すぎた、ということが一番の反省点でした。

ちなみにこの国体では、川根高校の小野島海選手が500リットルシングルで7位に入賞しました。後輩たちの活躍はとてもうれしですし、励みになります。

競技以外では、昨年9月に接岨湖で行われたパドルスポーツの体験イベント「奥大井パドルミーティング」に参加させていただき、競技ではない形でカヌーに乗ることができて楽しかったです。多くの人にカヌーの楽しさを知ってもらったことができたのではないかと思います。また11月には、母校の本川根中学校で講演させていただきました。最後まで集中して聞いてくれた後輩たちの姿に、とても感激しました。私自身、こうした活動を通して、今の自分を見つめ直す、競技生活を振り返る、人に伝わる表現を学ぶといった貴重な機会を得ることができました。お招きいただいたことに、とても感謝しています。

日本代表、アジア大会へ

3月には今年の日本代表を決める選考会があります。今年は

代表チームに戻って水上での練習や実戦を多く重ね、チームから離れていた1年半の成果を生かしていきたいと思っています。

また8月には、4年に一度のアジア大会が開催されます。東京五輪を見据えてアジアのライバルと戦うことができる、重要な大会です。まずはこの大会に競技活動の標準をあわせていきます。

声援を力に変えて

元旦に小長井区の徳谷神社へ参拝に行った時、何人かの町民の方が声を掛けてくれました。町の皆さんをはじめ、会社や家族の支えが、私にとって何よりの励みとなっています。皆さんに良い結果を、特に「優勝」の2文字を届けられるよう頑張っていきます。これからも温かいご声援をよろしく願います。

東京五輪まで、残り2年半。
1日1日を大切に、目標に向かって頑張ります!

